



ダンコ島

南緯64度44分 西経62度36分 エレラ海峡

主な特徴

- ゼンツーペンギンのコロニー
- 氷河の景観



概要

地形	ダンコ島は、エレラ海峡南部にある長さ1マイルの島である。北岸は広くて平らな小石海岸を特徴とし、その後ろには雪のない斜面が、氷で覆われた島の頂上まで長く続いている。島の頂上と島の南側は万年氷である。
動物相	繁殖が確認されている種：ゼンツーペンギン(<i>Pygoscelis papua</i>)、サヤハシチドリ(<i>Chionis alba</i>)。繁殖が未確認の種：ミナミオオセグロカモメ(<i>Larus dominicanus</i>)、オオトウゾクカモメ(<i>Catharacta skua</i>)、ナンキョクアジサシ(<i>Sterna vittata</i>)、ズグロムナジロヒメウ(<i>Phalacrocorax atriceps</i>)。ウェッデルアザラシ(<i>Leptonychotes weddellii</i>)は頻繁に上陸し、カニクイアザラシ(<i>Lobodon carcinophagus</i>)は近くによく出現する。
植物相(植生)	夏の終わりに冰雪藻類が広範囲に見られる場合がある。本島ではコケ類2種が記録されており、地衣類も生息している。
その他	「基地O」(英国)は、1956年2月から1959年2月まで使用されていたが、その後放棄された。小屋は2004年3月から4月にかけて解体処分されたが、コンクリートの基礎ブロックが残っている。

訪問者の影響

既知の影響	なし。
潜在的影響	野生生物の攪乱。

上陸要件

船舶*	乗客500名以下の船舶*(次の「訪問者」の項も参照)。一度に1隻の船舶に限る。1日あたり(午前0時から翌午前0時まで)3隻以内で、そのうち乗客200名を超える船舶は2隻までとする。
訪問者	探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に100名以内。

訪問地区

上陸地区	英国基地の跡地に近い北岸西端の地点が好ましい。
閉鎖地区	なし。
ガイド付き徒歩地区	なし。
自由散策地区	訪問者は監視の下、自由散策が許されている。

訪問者の行動規範

上陸後の行動	訪問者は南極訪問者ガイドラインに従って行動すること。 ペンギンが作った深い雪道を歩かないこと。
注意事項	ボートの操縦者は上陸海岸へ接近する際、岩の多い浅瀬に注意すること。 万年氷の斜面、特に島の頂上南側の斜面には、割れ目があり危険である。高山の十分な経験と訓練を積み、適切な装備(ロープを付けるなど)をした者以外立ち入ってはならない。 海岸地区、特に「基地O」跡地南側の海岸では、氷山崩壊による波のつなぐりに気をつけること。

採択：2010年
最終改訂：2013年

*：ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。



ダンコ島

南緯64度44分 西経62度36分 エレラ海峡



上陸地点。海岸近くの岩の多い浅瀬に注意すること



英国基地跡はコンクリートの基礎ブロックに表示がある。



島の頂上にある露岩。
南側に下る氷の斜面は割れ目があるので危険である。

